

【正面近い】

(ウキウキした様子で)

やあ、目覚めたかい。

ふふふ、どうしてこんな格好をしているのか、わかっていない、という様子だね。起きたら裸になって、縛られているんだから、そりゃあ無理もないさ。

まだ頭もハッキリしていないようだし、順を追って、説明してあげようか。

君は、私の家に遊びに来ていた。

放課後、私に誘われて、普通に他愛もない話をするつもりでね。

そして、私が出した紅茶を飲んだ。

ところが、その紅茶には睡眠薬が仕込んであった、というわけさ。

で、君が眠っている間に、服を脱がせて、ベッドの上に移動させてから、手足を縛った、というわけさ。

どうしてこんなことをするのか、って？

それは決まってるだろ。

君のことを調教したいからさ。

私は、前々から、君のことが気に入っていたんだ。

君という人間を、私のものにしたくてね、それでこうやって監禁した、というわけだ。

何も、監禁する必要はないじゃないか、と思うかもしれないね。
うん。

それは至極もつともな話ではあるね。

しかし、いまも言っただろ？

私は、君のことを調教したいんだ。

私の言うことなら何でも聞く、種馬として、ね。

私の喉が渴いたら、熱い精液を浴びるように飲ませてくれて、私が孕ませてほしくなったら、子種をたっぷりと注いでくれる。そんな人間種馬に、君のことを調教したくて仕方がないんだ。

ふふふ、解放はしないよ。

君が心の底から私のものになるまで、こうして縛り続けているからね。

それに、君の体は正直に反応しているじゃないか。

ほら、そのチンプ。

ギンギンにそそり立っているよ。

私の読みは間違っていないかったな。

私が君のことを気に入っていたのは、君の見た目や性格以上に、その気質だ。君は、きっと、責められるのが好きなんだろうな、と思っていたんだ。

ああ、否定しなくてもいいさ。

私にはわかるんだ。

君が本当は、どうしようもないくらい、ド変態だっていうことが。

私と同じくらい、エッチで、ふしだらで、いやらしい嗜好の持ち主だって。

さあ、おしゃべりはこれくらいにして、始めようか。

んしょ……よいしょ……

私も服を脱がせてもらおうよ。

ここから先は、お互い剥き出しの身で、欲望をぶつけ合おうじゃないか。なに、心配することはない。

すべて私がリードするさ。

君はただ、そこに仰向けに寝転がったまま、私のことを受け入れていればいい。

ふふふ、その表情は、怯えから来るものかい？

それとも期待に満ちたものかい？

どちらにせよ、数時間後には、悦びに満ちた表情へと変わっていくさ。

君は、身も心も、私のための種馬となるんだからね。

では、そろそろ行かせてもらおうよ。

楽しい、楽しい、調教タイムの始まりだ。

(ここまで)

【正面股間近い】

ふふふ、逃げたくても逃げられないよ。

この家には、いま、私と君の二人しかいないからね。

どうあがいても、君は私に、精を搾り取られる運命なんだよ。

それに、君のチンポ、何もしていないのに、もうこんなに元気になっているじゃないか。なんだかんだで、君も期待に満ちているんだろう？

私に色々と言いたいことを言いたい、と思っているんだろう？
もつと正直になっていいんだよ。

そうしたら、まずは、口で責めてあげよう。
私の口で、いっぱい気持ち良くなってくれ。

実は、こういうことは初めてだから、ちゃんとやれるかわからないが、
なに、イメージトレーニングは万全に重ねてきたからね。
しつかりと、君が気持ち良くなるように、責めさせてもらうよ。

んん。

たまらないね、君のチンポ。
においがここまで漂ってきているよ。
汗で蒸れたのかな。

それとも、洗っていない、臭いチンポなのかな。

くんくん。

くんくん。

んん、いいね、このにおい。

さて、先っぽを舐めてみようか。

れろ……

ふふふ、これはなんだい？ 先走り汁かい？
もう我慢出来なくなっているのかい？

私の口マンコでしごいてももらいたくて、ウズウズしているのかい？

いいだろう。君の求めに応じようじゃないか。

私の口で、たっぷりしごいてあげるよ。

それじゃあ、始めるよ。

(フエラチオ)

んぐ……

じゅぽっ……じゅぽっ……

じゅる……

じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……

ぐぐ……

ぐぽ……

じゅう……

じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……

じゅるる……

(……まで)

(息継ぎ)

ぷはぁ♡

(……まで)

おほ♡

たまらないねえ。

私のフエラで身悶える君の姿を見ているだけで、私のマンコが疼いてくるよ。
ふふふ、だけど、こんなもんで終わらないよ。

君の睾丸に溜まっているザーメン、一滴残らず搾り取ってあげようじゃないか。
さあ、もっと体を楽にして。

すべて、私に任せて……

(フエラチオ)

はむ……

じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……

じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……

じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……

ぐぐ……

ぐぽ……

ぐぐ……

ぐぽ……

じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……

ぐぐ……

ぐぽ……

ぐぐ……

ぐぽ……

じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……

じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……じゅぽっ……

(っっ)まで

(息継ぎ)

ふはぁ♡

(っっ)まで

おほ♡

君のチンポ、かなりガチガチに硬くなってきたいるじゃないか♡
私のフェラチオが、そんなによかったのかい？

こんなにチンポを硬くされると、嬉しくなってしまうじゃないか。
もっともっと、続けるよ。

(フェラチオ)

ぐっぽ……ぐっぽ……ぐっぽ……ぐっぽ……

じゅぷ……じゅぷ……じゅぷ……じゅぷ……

じゅるるる……じゅるるる……

ぐゅ……ぐゅ……ぐゅ……ぐゅ……

じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……

じゅ……じゅ……じゅ……じゅ……

じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……

じゅるるる……じゅるるる……

じゅ……じゅ……じゅ……じゅ……

(っっ)まで

はぁう♡

おほ♡ チンポがビクビク痙攣しているぞ♡

そんなに気持ちいいのかい？♡

君のその表情もまた、なかなかいいじゃないか♡

(亀頭舐め)

れろ……れろ……れろ……れろ……

先走り汁も溢れてきていて……いい感じだね……

ちろ……ちろ……ちろ……ちろ……

(っっ)まで

おほ♡ 美味しい♡

この調子だったら、君のザーメンは、かなり濃厚で美味なものになりそうだな♡

(フェラチオ)

じゅ……じゅ……じゅ……じゅ……じゅ……

じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……
じゅるるる……

じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……
じゅ……じゅ……じゅ……じゅ……

じゅるるる……じゅるるる……

じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……

じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……

じゅ……じゅ……じゅ……じゅ……

じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……じゅっぽ……

(……まで)

おほ♡ 息が荒くなってきたぞ♡

もうイキたくなってきたのか？ そんなに私の口が気持ちいいのか？

ならば、特別にサービスで、イカせてあげようか♡

もちろん、君の意思は関係ないさ。

いまはイキたなくても、無理やりイカせてみせようじゃないか♡

なぜなら、君の体は、射精したくてしくて、ウズウズしているようだからね♡

では、君のチンポを、私のおっぱいで挟みこむよ。

(パイズリ)

おほお♡ たまらないな、これは♡

どうだい、私のパイズリは？♡

なかなかエッチな眺めだろう♡

君のチンポ、私のおっぱいで、しっかりとしごかせてもらおうぞ♡

んしょ……♡ んしょ……♡ んしょ……♡

おほ……♡ おほ……♡ おほ……♡

んしょ……♡ んしょ……♡

ん……♡ ん……♡

おほ……♡ おほ……♡ おほ……♡

ほっ……♡ ほっ……♡ ほっ……♡

おん……♡ おん……♡ おん……♡

どうだい♡ 気持ちいいだろう♡

(……まで)

さらに、パイズリしながら、口で責めてあげようじゃないか♡

(フェラチオ)

じゅば……じゅば……

ぺろ……ぺろ……ぺろ……ぺろ……

ぴちゃ……ぴちゃ……ぴちゃ……ぴちゃ……

じゅぼ……じゅぼ……じゅぼ……じゅぼ……

じゅ……じゅ……じゅ……じゅ……

れろ……れろ……

じゅ……じゅ……

れろ……れろ……

ちゅ……

ちゅば……

ちゅ……

ちゅば……

ぺろ……ぺろ……ぺろ……ぺろ……

じゅぽ……じゅぽ……じゅぽ……じゅぽ……

(ニニニまで)

おん♡ 君のチンポ、どんどん硬くなってきた♡
イキたいのかい？♡

出したくて出したくて、たまらないのかい？♡

いいだろう、思う存分出すといい♡

このままビュッビュッと出してもらおうか♡

私の顔も、おっぱいも、髪の毛も、ペトペトに汚してもらおう♡

さあ、さあ……♡

出すんだ……♡

欲望を思いきり解放するんだ……♡

(フェラチオ)

ぺろぺろぺろ……♡ ペろぺろぺろ……♡

じゅぽ……♡ じゅぽ……♡

ぺろぺろぺろ……♡ ペろぺろぺろ……♡

じゅぽ……♡ じゅぽ……♡

じゅ……♡ じゅ……♡

じゅるる……♡

れろれろ……♡ れろれろ……♡

じゅっぽ……♡ じゅっぽ……♡

ぐぐっ……♡ ぐぐっ……♡ ぐぐっ……♡ ぐぐっ……♡

じゅるる……♡ じゅるる……♡

じゅぽっ……♡ じゅぽっ……♡

じゅるる……♡

じゅっぽ♡ じゅっぽ……♡ じゅっぽ……♡ じゅっぽ……♡

(ニニニまで)

おほおほ♡ イキそうかっ♡ もうイクのか？♡

いいぞ、思いっきり出すといい♡

一滴残さず、受け止めようじゃないか♡

(フェラチオ・激しく)

じゅぽっ！ じゅぽっ！ じゅぽっ！ じゅぽっ！
じゅぽっ！ じゅぽっ！ じゅぽっ！ じゅぽっ！
じゅ！ じゅ！ じゅ！ じゅ！ じゅ！ じゅ！

(ニニニまで)

(パイズリ)

おほお♡

おほっ♡ おほっ♡

おん♡ おん♡ おん♡ おん♡

(ニニニまで)

(フェラチオ・激しく)

じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！
じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！
じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！
じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！
じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！ じゅっぽ！

(ニニニまで)

(口内射精)

ん！ ん！ ん！

ん む ろ う う う！

(ニニニまで)

(息継ぎ)

あ♡

ぷはぁ♡

(ニニニまで)

おっほおお♡

口の中に♡ 顔面に♡ 君のザーメンがいっぱい♡

おん♡

たまらない♡

このにおい♡

これが、精液のにおいなのか♡

おほお♡

すごいにおい♡

それにしても、君のチンポ……すっかり白濁液まみれじゃないか……♡
これは、きれいに掃除しないといけない♡

おほっ♡

締めは、お掃除フェアというのか♡

(お掃除フェア)

ぐぐっ♡

じゅるるるるる♡

じゅぽ♡ じゅぽ♡ じゅぽ♡ じゅぽ♡

じゅるるるるるる♡

じゅぽ♡ じゅぽ♡ じゅぽ♡ じゅぽ♡

ぐっぽ♡ ぐっぽ♡ ぐっぽ♡ ぐっぽ♡

じゅるるるるるる♡ じゅるるるるるる♡

ぐっ♡ ぐっ♡ ぐっ♡ ぐっ♡ ぐっ♡

(っっっまで)

おっほおお♡ おいしい♡

この味は、実に、たまらないな♡

エッチなおいで口の中がいっぱいだ♡

ふふふ……どうだった？♡

おっと、こんな程度で満足してもらっては困るな♡

私のマンコが、君のチンポを求めて仕方がないからね♡

まだまだ君には頑張ってもらわないと困るんだ♡

それに、君のチンポも、二回戦目を希望しているようだよ？

ほら、私のお掃除フェアを受けて、また硬くなってきたいるじゃないか。

早くも次の勝負に向けて、臨戦態勢、といったところだな♡

それじゃあ、続けようか♡

【正面股間近い】

君のチンポ、もうこんなに硬くなつてきているな♡

ふふふ、私のマンコで、啜えさせてもらおうじゃないか♡

ほら、見たまえ。

私のマンコ……♡

愛液が溢れ出していて、すっかりトロトロになっているぞ♡

さあ、体の緊張を解いて……♡

身を楽しんで……♡

私にすべてを委ねるんだ……♡

君は、そのまま仰向けになって寝ているといいさ。

上に乗って、騎乗位の体勢で、たっぷりと搾り尽くさせてもらうからな♡
ふふふ、興奮してきたかな。

そーら、よく見たまえ。

私のマンコだ♡

大股開いて、寝転がっている君にも良く見えるようにしてやっているぞ♡
どうだ♡

これを見たら、君のチンポもウズウズしてくるんじゃないのかな♡

さて、さっそく入れていこうか♡

正直こういうことは初めてだから、ちゃんとできるか、ドキドキしているけど……♡
十分にマンコの中も濡れているし、君のチンポも勃起しているし、
準備は万端、といったところだな♡

今までオナニーだけでイメージプレイをしてきたけど、
とうとう実践するときがきたな……♡

私の処女……♡

もらってくれ……♡

さあ……私のマンコに……君のチンポを……差し込んで……♡

（挿入）

（うっとり）

おほお♡

いい♡

オマンコの中が気持ちいい♡

これが、本物のチンポ♡
オナニーだけでは味わえない、至高の悦楽……♡
(こゝまで)

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡
すごいな……！

奥まで、入れるの、大変だ……♡

おほお♡
おん♡
おおん♡

(喘ぎながら)
中で、何かが、突き破られていくような感じがするう♡
私の処女が……♡
処女膜が……♡
君のチンポで貫かれていく……♡
(こゝまで)

おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡
おほお……♡

(うっとり)
奥まできたあ……♡
(こゝまで)

おん……♡
オマンコ……♡ オマンコ……♡
気持ちいい……♡

おほお……♡
んしょ……♡ んしょ……♡

(喘ぎながら)
腰を動かすのも、なかなかひと苦勞だけど……♡
だんだん、オマンコがオチンポに吸いついてきている……♡
じわじわと……形が変わって……♡
君のオチンポの形に……♡

ん……♡ ん……♡
こんな感じで……腰を動かせばいいかな……？♡
(こゝまで)

おほお♡

いい……♡　すごくいい……♡

おほお♡

おほ♡　おほ♡　おほ♡　おほ♡

これがセックス……♡

いままで散々妄想してきたけど、頭の中でイメージするよりも……

ずっと、気持ちいい……♡

おん♡　おん♡　おん♡　おん♡

もうすっかり、私のマンコは、君のチンポに馴染んだようだね……♡

ここから、試しに、腰をもっと動かしてみようか……♡

おっほ♡　おっほ♡　おっほ♡　おっほ♡

おん……♡

背中に、ビリビリするものが走ってる……♡

これが、エクスタシー……？♡

最高の気分だ……！！♡

おほっ♡　おほっ♡

おっ♡　おっ♡

おほっ♡　おほっ♡

おっ♡　おっ♡

(喘ぎながら)

イキたくなったら、いつでもイッていいんだよ♡

ああ、中出とか、そういうことは気にしなくていいさ。

むしろ、私は、君に種付けしてほしいくらいだからね♡

君のザーメンを……♡

私の中に思う存分放ってほしいんだ……♡

外出しは許さないぞ……

中出しで……妊娠してもおかしくないくらいの精液を……

一気に注いでほしいんだ……♡

ああ、ようやく君は、私の正体がわかったようだね……♡

そうだよ……♡

私は、ドスケベなんだ……♡

いつも頭の中はザーメンのことではいっぱいのだスケベJKなんだ……♡

特に君の子種は、欲しくて欲しくてたまらないんだ……♡

学校では、同性から王子、王子、と呼ばれているけど……♡

本当は、どうしようもなくエッチなことが大好きなんだ♡

さあ♡ さあ♡

遠慮することはない♡ このまま出してしまえ♡
ドピュッドピュツと精液を出すんだ♡

おや？ 中出しはまだまだ怖いかな？
ふうん、そうかあ。

まだまだ、君もこの状況に馴染んでいないようだな。
種馬としての自覚が足りないようだ。
こうなったら、とことんまで調教するしかないな。

そして、いっぱい注いでもらおうじゃないか♡

君の子種……♡

濃厚ザーメン……♡

(っっまで)

では……♡ 続きをいくぞ……♡

めいっぱい楽しもうじゃないか♡

おほっ♡ おほっ♡

おんっ♡ おんっ♡

おほっ♡ おほっ♡

おんっ♡ おんっ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

いい……♡

すごい……♡

おんん……♡

おん♡ おん♡ おん♡ おん♡

(喘ぎながら)

これだけ責めても、まだイカないのか♡

強情なチンポだな♡

私のお口とおっぱいでは、あっさりと負けを認めたのに♡

ほら♡

出すがいい♡

出せ♡ 出せ♡

君の、濃厚で、とてもくさい、熱くてトロトロしている、ザーメン汁を……♡

ザーメン……♡ ザーメン……♡ ザーメン……♡ ザーメン……♡

(っっまで)

おん♡ おん♡

おふっ♡ おふっ♡

おんっ♡ おんっ♡

おっ♡ おっ♡

おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

(喘ぎながら)

まるで酔っ払っているみたいな……♡

ふわふわして……♡

頭の中が少しずつ真っ白になっていくような感じがして……♡

ふふふ、君のチンポも、この上なく怒張っているね……♡

実に素直でいいオチンポだ……♡

君も、このチンポの意思に従ったらどうなんだ？♡

快楽に身を委ねて……♡

そして誓うんだ……♡

私に屈服すると……♡

もつともつと気持ち良くしてほしいと、私に懇願するんだ……♡

(……まで)

あっはあ♡

おほお♡ おほお♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

おん♡ おん♡ おん♡ おん♡

(喘ぎながら)

この世に、こんなにも快楽を味わえる行為があったなんてな……♡

みんながセックスに狂う気持ちだが、よくわかるよ……♡

これのためなら、どんな犯罪でも手を染めてしまいそうだ……♡

もつとも、私はいま、君のことを監禁して、調教しているわけだけどね♡

君がいけないんだぞ……♡

私のことを夢中にさせて……♡

その気にさせて……♡

私にこんな犯罪行為までさせてしまうくらい、魅力的な君が、悪い……♡

ほらほらあ……♡

どうした……♡

そろそろザーメンを出したくて仕方がないんじゃないか？♡

我慢すると体に毒だぞ……♡

欲望を素直に解放するんだ……♡

耐えなくていい……♡

一気に噴き出させて、私のマンコの中を白い液体で満たしてくれ……♡

(……まで)

そーら！ もっと激しく腰を動かすぞ！

(激しくセックス)

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おほお！ おほお！ おほお！ おほお！

おっ！ おっ！ おっ！ おっ！

おほお！ おほお！

おんっ！ おんっ！ おんっ！ おんっ！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

(……まで)

(喘ぎながら)

ああああ……！

いいよ！ すごい！ 最高の気分だ！

君のチンポにすっかり夢中だよ♡

これ♡ これ♡ これえ♡

この、チンポで、マンコを突かれる感覚う♡

たまらない♡

君は？♡

君は、私のマンコに夢中ではないのかい？♡

うーん、まだまだ、雑念がまじっているようだね♡

これはよくないなあ♡

もっともっと、私のドスケベマンコで調教しないと♡

(……まで)

おおん♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

おほお♡

おほ♡

おほお♡

おほ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

(喘ぎながら)

君のことが、愛しくて愛しくて、たまらない♡
だから、早く、私のものになーれ♡

私だけのオチンポ♡

独占オチンポ♡

もう、永遠に、オマンコで啜え込んでいたくらい、大好きなオチンポ♡

(ニニニまで)

あん♡ あん♡ あん♡ あん♡

(喘ぎながら)

ほらほらほらあ♡

ここまでマンコで搾られて、まだ我慢するのかい？♡

もう出したくて出したくて仕方がないんだろ♡

出しちゃえ♡

ビュビュッと出しちゃえ♡

(ニニニまで)

おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡

お♡ お♡ お♡ お♡

おん♡ おん♡ おん♡ おん♡

おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡

おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

(喘ぎながら)

お互い、息も絶え絶え、な感じだな……♡

もう君は限界を迎えつつあるんだろ？♡

私もだ♡

私も、体の奥から昂ぶりが増してきていて、もう、我慢出来そうにない……♡

イクよ……♡

二人で一緒に、つながりながら……♡

(ニニニまで)

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おふっ！ おふっ！ おふっ！ おふっ！

おんっ！ おんっ！ おんっ！ おんっ！

お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！

おおん！

おん！

おおん！
おっほお！
お！お！お！お！
おほっ！おほっ！おほっ！おほっ！

あ……！

だめ……！

そろそろイク……！

イツちゃう……！

君も、イツてくれ……！

そして、私の中に……オマンコに……精液を……ザーメンを……出して……！

子種を……！

種付けして……！

孕ませてえ！

おほっ！

おっ！おっ！おっ！おっ！おっ！おっ！

あ！あ！あ！あ！

イクっ、イクっ、イクっ、イクっ♡

（絶頂）

おほおほおほおほおほおほ！

（こっこまで）

（中出し）

ああああ……♡ 入ってきてるう……♡

（こっこまで）

熱い精液が……♡

ドクドク流れ込んできてるう……♡

ほらほら……♡

見てごらん……♡

私のオマンコから、君の精液が溢れ出て……♡

ポタポタと垂れているよ……♡

これはまた、すごい量を出したもんだな……♡

ふふふ……♡

セックス……♡

最高……♡

何度でもやりたくなっちゃうな……♡

おや……？

どうしたんだい。グツタリして。

まさか、いまのでもう力尽きちゃったんじゃないだろうね。

冗談じゃないよ。

むしろ、ここからが本番だろ。

私はまだまだ、何度でもエッチする心づもりでいたぞ。

ふふふ、そんな顔をするなよ。

もっと楽しもうじゃないか、この時、この瞬間を。

快樂に身を委ねるんだ。

そうすれば、この上ない至福の時間を過ごすことができるよ。

とはいえ、連続して勃起するには、もうちょっと時間が必要か。いいだろう。

次は、少しばかり、優しく扱ってあげよう。

調教には飴と鞭が必要だからね。

【左耳密着】

ほーら、力を抜いて、楽にして。

私に身を委ねて、何もかも任せていればいいから。

そうそう、そんな感じで。

うふふ、まるで乙女のような表情だね。

そんなにドキドキしているのかい。

君のその期待に応えて、たっぷりと調教してあげるからね♡

では、耳を啜えて……

（耳舐めながら）

はむ……はむ……

ちゅる……ちゅる……

ちゅ……ちゅ……

ちゅば……ちゅば……

ちゅ……ちゅ……

ちゅる……ちゅる……

ちゅう……ちゅう……

ぴちゃ……ぴちゃ……ぴちゃ……ぴちゃ……

どうだい？ 耳を舐め回される感触は。

興奮するだろう。

あえてエッチな音を立てているからね。

音でも楽しんでもらおうじゃないか。

ちゅば……ちゅば……

ちゅ……ちゅ……

れろ……れろ……れろ……れろ……

ちゅ……ちゅ……ちゅ……ちゅ……

れろれろ……れろれろ……れろれろ……れろれろ……

（ここまで）

おほっ♡

君のチンポ、また元気になってきたね♡

さつきイッたばかりだというのに、随分とたくましいチンポだな♡

そんなに私のオマンコが気に入ったのかい？♡

でも、まだダメだよ。

まだまだ、二回戦目に突入するのは早いからね。

だけど、こんなにも硬くそびえ立っているのを見ると、

ちよっと慰めてあげたほうがいいかもしれないな。

やれやれ、しょうがないな。
手でしごいてあげるか。

それ……

(手コキ)

シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ……
(ここまで)

【左耳密着↓正面股間近い】

ふふふ、よだれを垂らして……

(よだれ垂らし)

えあ——……

(ここまで)

【正面股間近い↓左耳密着】

この唾液をローション代わりにして、しごいてあげよう♡
きつと、ものすごく気持ちいいと思うよ♡

ほら、濡れた水音でいやらしい音も聞こえてくる♡

(手コキ)

シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ……
(ここまで)

耳舐めも続けるよ……♡

(耳舐めながら)

ちゅばっ……ちゅばっ……

ちゅ……ちゅ……ちゅ……ちゅ……

ちゅるる……ちゅるる……

れろ……れろ……れろ……れろ……

ぺろぺろ……ぺろぺろ……

じゅるる……じゅるる……

ぴちや……ぴちや……

ちゅ……ちゅ……

ちゅう……ちゅう……

ちゅうう……

れろ……れろ……れろ……れろ……

ぴちや……ぴちや……

ちゅう……ちゅう……

れろ……れろ……れろ……れろ……

ちゅ……ちゅ……

(っっまで)

おっほおお……♡

さらに手コキを激しくしようじゃないか。

君の様子を見ると、まだまだ強くしても受け止められそうだからね。
君が悲鳴を上げたくなくなるくらい、激しくしごいてあげるよ……♡

(手コキ)

ゴシ……ゴシ……ゴシ……ゴシ……

ゴシ……ゴシ……ゴシ……ゴシ……

(っっまで)

おっほお♡

握っている手が熱い……♡

君のチンポ、火傷しそうなほどに燃えているね……♡

そんなに私の手コキで興奮しているのかい？

ふふふ、ビクンビクン脈打っているよ……♡

おほお……♡

私も疼いてきたな……

よいしょ……

アソコの具合は……

あはあ♡

トロトロだ♡

ほら、私の指を見てっらん♡

愛液でベトベトになっている♡

君のことを責めていたら、すっかりオマンコが濡れちゃったよ♡

なんだか、自分で自分を慰めたくなくなってきたな……♡

そうしたら、君のことを責めながら、空いてる手で、

オナニーでもしようかな♡

私もめいっばい気持ち良くなりたからね……ふふふ……♡

ん……♡

アソコの穴に、指を入れて……♡

敏感なところに当てて……♡

ああっ……♡

おほ……♡

(喘ぎながら)

オマンコの中、トロトロで、熱くなってる……♡

愛液がどんどん溢れ出てきてて、止まらない……♡

気持ちいい♡ 気持ちいい♡ 気持ちいい♡

それじゃあ、君の耳舐めと手コキ、再開するよ……♡

(こっこまで)

(耳舐めながら)

あむ……

ちゅば……ちゅば……

ちゅ……ちゅ……

ちゅう……ちゅう……

じゅるるる……

ちゅ……ちゅ……

れろ……れろ……れろ……れろ……

ぴちゃ……ぴちゃ……ぴちゃ……ぴちゃ……

ちゅば……ちゅば……ちゅば……ちゅば……

ちゅ……ちゅ……

ぺろ……ぺろ……ぺろ……ぺろ……

れろ……れろ……れろ……れろ……

ほらほら……ちゃんと私のことを見て……♡

一糸まとわぬ、裸の状態で、

君のためにあんなことやこんなことをしているんだよ……♡

ああ、いや、すまない……♡

君のため、ではないな。

すべては私のためにやっていることだった♡

(こっこまで)

おほっ♡

私が最高に気持ちいい思いをしたいから、やっていることだよ♡

そのためには、君には早く、この一連のプレイに慣れてもらわないとね。

私に従う従順なペットとなつてもらわないと……♡

おほお……♡

いいよ……すごい♡

想像以上に興奮するよ……♡

(耳舐めながら)

ちゅ……ちゅ……ちゅ……ちゅ……

れろ……れろ……れろ……れろ……
ぺろぺろ……ぺろぺろ……ぺろぺろ……ぺろぺろ……
ぴちゃ……ぴちゃ……
ちゅ……ちゅ……

(♡♡まで)

(手コキ)

シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ……
ゴシ……ゴシ……ゴシ……ゴシ……
ゴシ……ゴシ……ゴシ……ゴシ……
(♡♡まで)

(耳舐めながら)

ちゅぱ……
ぴちゃ……
ちゅぱ……
ぴちゃ……

れろれろ……れろれろ……

ちゅ……ちゅ……ちゅ……ちゅ……

ちゅるる……ちゅるる……

れろれろれろ……れろれろれろ……

(♡♡まで)

(手コキ)

シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ……
ゴシ……ゴシ……ゴシ……ゴシ……
ゴシ……ゴシ……ゴシ……ゴシ……
(♡♡まで)

(囁き)

ふふふ、何とも言えない表情をしているね。

こんなエロい目に遭っていて、まだ嬉しくないのかい？

ああ、同じ学校の私が、まさかこんなにもエロくて

ド変態だとは思っていなかったのか。

戸惑っている、戸惑っている、ふふふ。

これは君と私だけの秘密だからね♡

絶対にバラしたらダメだぞ♡

ああ、でも、大丈夫だよ。私は盗撮とかしたりしていないから、

君のそのあられもない姿をネタに、脅したりはしないさ。

私は信じているよ♡

君がちゃんと秘密を守ってくれるって♡

約束してくれるね？♡

ね？♡

ふふふ、その反応は、本心から来るものか、それとも偽りか。
とりあえずは、君は大丈夫だと思っているからね。

さあ、続けようか♡

(こっこまで)

(耳舐めながら)

れろ…………れろ…………

ちゅ…………ちゅ…………ちゅ…………ちゅ…………

ちゅば…………ちゅば…………

ちゅ…………ちゅ…………

ちゅるるる…………ちゅるるる…………

れろ…………れろ…………れろ…………れろ…………

(こっこまで)

おほ♡

おほお♡

(囁き)

オマンコから愛液がどんどん溢れ出て、止まらない…………♡

ほら、聞こえるかい…………？♡

グチュグチュ音が鳴ってるよ…………♡

いやらしい音がいっぱい鳴り響いているよ…………♡

君のチンポも、先走り汁が滲み出ているね…………♡

私の手が…………ベトベトに汚れて…………

(こっこまで)

(におい嗅ぎ)

くんくん…………

(こっこまで)

すくく、いいにおい…………♡

(手コキ)

シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ…………

ゴシ…………ゴシ…………ゴシ…………ゴシ…………

ゴシ…………ゴシ…………ゴシ…………ゴシ…………

(こっこまで)

そろそろイクかい？

それとも、もっとこの時間を楽しみたいかい？♡

どっちだい？

どっちなんだい？♡

ふふふ、返事が遅いから、もうちょっとじゅめを付けてもふふふ♡

あん…………♡

ああ…………♡

お♡ お♡

おほっ♡

(耳舐めながら)

ぴちゃ…………ぴちゃ…………ぴちゃ…………ぴちゃ…………

ちゅる…………ちゅる…………

ぺろ…………ぺろ…………ぺろ…………

ちゅ…………ちゅ…………ちゅ…………ちゅ…………

れろれろれろ…………れろれろれろ…………

ぴちゃ…………ぴちゃ…………ぴちゃ…………ぴちゃ…………

ちゅるるる…………

ちゅるるる…………

れろ…………れろ…………れろ…………れろ…………

れろ…………れろ…………れろ…………れろ…………

ちゅ…………ちゅ…………ちゅ…………ちゅ…………

(……まで)

(手コキ)

シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ…………

ゴシ…………ゴシ…………ゴシ…………ゴシ…………

ゴシ…………ゴシ…………ゴシ…………ゴシ…………

シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ…………

ゴシ…………ゴシ…………ゴシ…………ゴシ…………

ゴシ…………ゴシ…………ゴシ…………ゴシ…………

(……まで)

おほっ♡

気持ちいい…………気持ちいいよお…………♡

いつまでも…………いつまでも、味わっていたい…………この快樂…………♡

君は、どうだい…………？♡

そんな顔をしているけど、本当は、もうアへっているんじゃないか…………？♡

快樂の虜になっているんじゃないのかい？♡

おほお♡

おん♡ おん♡ おん♡ おん♡

ああ♡

我慢できなくなってきた♡

イキたい♡ すぐイキたい♡

君もイキたいんだろう？♡

遠慮しないでいいんだよ♡

(手コキ)

そら♡ そら♡ そら♡

シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ……

(ニニニまで)

(手コキ)

そら♡ そら♡ そら♡

シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ、シュツ……

(ニニニまで)

(囁き)

いいよ、許可しよう♡

思う存分射精するといいき♡

こんなにもパンパンに膨れ上がったチンポだ♡

全身で浴びるほどの精液を飛ばしてくれるのを、期待しているよ♡

さあ、フィニッシュというか……♡

(ニニニまで)

(耳舐めながら)

ちゅぽ……ちゅぽ……ちゅぽ……ちゅぽ……ちゅぽ……

ちゅ……ちゅ……ちゅ……ちゅ……ちゅ……

れろ……れろ……れろ……れろ……

ちゅるる……ちゅるる……

れろれろれろ……れろれろれろ……

ぴちゃ……ぴちゃ……ぴちゃ……ぴちゃ……

じゅぽ……じゅぽ……じゅぽ……じゅぽ……

ぢゅ……ぢゅ……ぢゅ……ぢゅ……

ちゅる……ちゅる……ちゅる……ちゅる……

(ニニニまで)

おん♡

おほ♡

お♡

おん♡ おん♡

オマンコが……♡

トロトロになって……♡

指が吸い込まれるう……♡

おほ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

(手コキ)

シュッ、シュッ、シュッ、シュッ、シュッ、シュッ……

ゴシ……ゴシ……ゴシ……ゴシ……

ゴシ……ゴシ……ゴシ……ゴシ……

シュッ、シュッ、シュッ、シュッ、シュッ、シュッ……

ゴシ……ゴシ……ゴシ……ゴシ……

ゴシ……ゴシ……ゴシ……ゴシ……

(うっまで)

(嘔き)

おほお♡

オチンポの声が聞こえてきたよ♡

出したい♡ 出したい♡ って♡

これはもう、出すしかないね♡

私もイキたくなってきたから、ちょうどいいよ……♡

さあ……♡

一緒にイクよ……♡

(うっまで)

(手コキ)

シュッ！ シュッ！ シュッ！ シュッ！

シュッ！ シュッ！ シュッ！ シュッ！

ゴシ！ ゴシ！ ゴシ！ ゴシ！

ゴシ！ ゴシ！ ゴシ！ ゴシ！

シュッ！ シュッ！ シュッ！ シュッ！

シュッ！ シュッ！ シュッ！ シュッ！

ゴシ！ ゴシ！ ゴシ！ ゴシ！

ゴシ！ ゴシ！ ゴシ！ ゴシ！

(うっまで)

おっ！ おっ！ おっ！ おっ！

おっ！ おっ！ おっ！ おっ！

(絶頂)

おっほおおおおおおおお……！

(うっまで)

(射精)

あ！

ふあああ！

(こっこまで)

(荒い息)

はあ、はあ、はあ。

(こっこまで)

(囁き)

ふふふ……二人で達したオーガズム……♡

君のザーメンで、私の手はもうベトベトになってるよ♡

まだまだこんなに溜まっていたなんて……♡

君は本当に……素敵な人だなあ♡

だけど、これで終わりじゃないだろ……？♡

君の睾丸、まだこれだけの大きさを保っているよ……♡

これは一滴残らず搾らないと、もったいないね……♡

そうしたら……もう一度……♡

私の中に、たくさん出してもらおうか……♡

君の精液を……子種を……注いでくれ……♡

(こっこまで)

【正面股間近い】

さあ……君のチンポの上にまたがるよ♡
あれだけ射精したというのに、もう元気になっているなんて……
本当に驚きだよ♡

（挿入）

ん……！
はあああ……！
これ……！
これなんだ……！
チンポが……チンポが入ってくるう！
私のオマンコをズブズブと貫いて……！

おん……！ おん……！ おん……！ おん……！
おっほ……！ おっほ……！ おっほ……！ おっほ……！
お……！ お……！ お……！ お……！
お……！ お……！ お……！ お……！
おおん……！
おん……！
おおん……！
おん……！
おっほお……！
お……！ お……！ お……！ お……！
お……！ お……！ お……！ お……！
おん……！ おん……！ おん……！ おん……！
あ……！ あ……！ あ……！ あ……！
くあ……！
あ……！
ひあああ……！

（喘ぎながら）
君のオチンポ……♡ オチンポ……♡
いい……♡
すごく気持ちいい……♡
もう絶対に離さないからな、このチンポ……♡
（……まで）

あう……！ あう……！ あう……！ あう……！
あん……！ あん……！ あん……！ あん……！

おっほおお……！

おほ……！ おほ……！ おほ……！ おほ……！

お……！ お……！ お……！ お……！

おおん……！

おん……！

おおん……！

おん……！

（喘ぎながら）

どうしたんだい……？

君から自主的に腰を動かしてもいいんだよ……？

ただ私に貪り食われているだけでいいのかい？

本当にそれで、いいのかい？

ああ……なるほど。

君は受け身でいるのが好きなんだね。

ただひたすら、私に犯されたいと……そういうことなんだね。

だったら、いいだろう。

私から……！

激しく……！

腰を動かそうじゃないか……！

（ここまで）

おふうううう！

おおん！

おん！

おおん！

（喘ぎながら）

チンポが深く、奥まで入ってきたあ！

気持ち良くて、気持ち良くて、壊れちゃいそう！

（ここまで）

おん！ おん！ おん！ おん！

お！ お！ お！ お！

おほお！ おほお！

おう！ おう！ おう！ おう！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おほおおお！

おう！

お！ お！ お！ お！

おおん！

おん！

ひぎいいい！

あん！ あん！ あん！ あん！

あ！ あ！ あ！ あ！

あああ！

おっほおおお！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

お！ お！

おほおおお！

ひぐ！

ひぎい！

おん！ おん！

おおん！

（喘ぎながら）

腰を、回すよ！

君のチンポ、折れちゃっても知らないからね！

八の字を書くように……！！

（……まで）

ああああ！

いいい！

すっごおおい！

ひいいい！

おう！ おう！

おん！ おん！

おおん！

あ！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！

ひぎいいい！

おおん！

おん！ おん！ おん！ おん！

おほおお！

お！ お！ お！ お！

おほおお！

あひ！ あひ！ あひ！

あひいいい！

おん！ おん！ おん！ おん！

おう！ おう！

おん！ おん！

あ！

ああん！

あ！

あっはあ！

おほお！

おほおお！

お！ お！ お！

(喘ぎながら)

らめえええ！

腰を動かすのが、止まらない！

あひいいい！

おっほおおお！

君を調教しないといけないのに……！

いけないのにいい……！

私ばかり、性の虜になって……！

これじゃあ、どうしようもない……！

君を陥落させないといけないのにいい！

(……まで)

おっほおおお！

おん！ おん！ おん！ おん！

お！ お！ お！ お！

おん！ おん！ おん！ おん！

お！ お！ お！ お！

おおん！

あ！ あ！ あ！ あ！

ああん！

あひい！

ひぎい！

あああああ！

あひ！ あひ！ あひ！ あひ！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おおん！

お！ お！ お！ お！

おおん！

お！ お！

ああ！

あん！ あん！ あん！

ひ！

ひうう！

あひ！ あひ！

あひい！

おう！ おう！ おう！ おう！

おお！ おお！
おっほおおお……！

(喘ぎながら)

頭の中が熱くなって……！

真っ白になって……！

高いところにフワッて上がるような感覚が……！

らめ……！

らめええ……！

イツちゃう……！

このままだと、私が先に、イツちゃう……！

イキたい……！

すごくイキたい……！

止まらない……！

快楽を貪るのが、止まらない！

(……まで)

おおおん！

(喘ぎながら)

もっともっと欲しいって、体が求めている……！

チンポを吸いたいって……！

吸い尽くしたいって……！

(……まで)

あ！ あ！ あ！ あ！

お！ お！ お！ お！

おん！ おん！ おん！ おん！

おほお！ おほお！

お！ お！ お！ お！

おほおお！

おんん！

おん！ おん！ おん！ おん！

あひ！ あひ！ あひ！

あっひいいい！

おっほおおお！

おおん！

お！ お！ お！

おお！

おほお！ おほお！

おう！ おう！

あ！ あ！ あ！ あ！

おっほおお！

お！お！お！お！

おおん！

おん！おん！おん！おん！

ひぎいいん！

おほお……！

おう……！　おう……！

おん……！　おん……！

おっほ……！　おっほ！

おっほ！　おっほ！

（絶頂）

おっほおおおおお！

（……まで）

はあ……はあ……

くう……！

イッてしまった……！

なんということだ……君より先にイッてしまうなんて……

く……！

君のことを調教しているはずが、私が負けてしまった……！

だけど、これでまだ終わりではないから……！

今度こそ、君をイカせてみせる……！

（喘ぎながら）

おん……♡

どうだ……♡

私のオマンコの締め付け、さっきよりも格段と強くなっているだろ……♡

一度絶頂を迎えているからな、キュウキュウに締めまりがよくなっているんだ……♡

ふふふ、これでも、まだ、君のチンポは耐えられるかな……？♡

おほお……♡

でも……私も、油断はできないな……♡

まだ気持ち良いのが残っているから……♡

ちよつと腰を動かすだけでも、すぐにイッてしまいそうだ……♡

頑張らないと……！

（……まで）

おん……♡　おん……♡　おん……♡

おおん……♡

(喘ぎながら)

ふふふ、わかつているよ……♡

君はもう限界なんだろう……？♡

イキたくて、イキたくて、仕方がないんだろう？♡

我慢するのは体に毒だよ……♡

遠慮せず、私のオマンコに、ぶちまけるといいよ。

そして、私に子種を与えてくれ♡

二人の愛の結晶を作ろうじゃないか♡

(……まで)

おんん……♡

(喘ぎながら)

ほら、私のオマンコと君のオチンポの接合部が、よく見えるだろう♡

しっかりと私達は性器同士でつながっているんだよ……♡

この光景、なかなかエロくて、興奮するな……♡

そうは思わないかい……？♡

君もすぐくエッチな顔になってきているぞ……♡

(……まで)

おん……♡ おん……♡

お……♡ お……♡ お……♡ お……♡

おおん……♡

おん……♡

おほ……♡ おほ……♡ おほ……♡ おほ……♡

お……♡ お……♡ お……♡ お……♡

おおん……♡

おん……♡ おん……♡

おっほお……♡

お♡ お♡ お♡ お♡

おう……♡ おう……♡ おう……♡ おう……♡

あん……♡

あはあん……♡

あう……♡ あう……♡ あう……♡ あう……♡

おっほ……♡ おっほ……♡ おっほ……♡ おっほ……♡

おん……♡ おん……♡ おん……♡ おん……♡

お……♡ お……♡ お……♡ お……♡

おっほお……♡

おおん……♡

おん……♡ おん……♡ おん……♡ おん……♡

おおう……♡

おん……♡

(喘ぎながら)

どうだい、気分は……？？♡

こみ上げてくるものがあるだろう……♡

もうそろそろ、射精したくなってきたんじゃないか……？？♡

あまり溜めこんでいると、体に毒だぞ……♡

君の精液を受け止めようと、私のオマンコは準備万端だ……♡

いつでも中に出していいんだからな……♡

ふふふ……何を気にしているんだい？

もちろん、私のことを孕ませたら、責任は取ってもらおう♡

だけど、いまさら、そんなことを恐れていても、手遅れさ♡

私に捕まったときから、君の運命は、もう決まっていたんだからね♡

(……まで)

おっふうう！

おんん！

あう！ あう！

あ！ あ！ あ！ あ！

ひぎい！

あああ！

あ！ あ！ あ！ あ！

あっはああ！

おうう！

おぐ！ おぐ！ おぐ！ おぐ！

おおん！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

あひいい！

おっほおお！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

おん！ おん！ おん！ おん！

おおん！

おん！ おん！ おん！ おん！

おおん！

おん！

(喘ぎながら)

はあ、はあ……

おや……？

おやおや……？

君もだいぶ息が荒くなってきたな……♡

ふふふ……♡

なんだかんだで、君も、もう耐えられなくなってきたんだな……♡

ならば、今度も、二人で一緒に、果てを迎えようじゃないか……♡
(ここまで)

あん！ あん！ あん！ あん！

あひ！ あひ！ あひ！ あひ！

あう！

あん！

おっほおっほ！

ひぎ！

ひぎい！

ひぎ！

おほお！

あ！ あ！ あ！ あ！

あひやあああ！

おっほ！

おん！ おん！ おん！ おん！

お！ お！ お！ お！

おほお！ おほお！ おほお！ おほお！

おう！ おう！ おう！ おう！

ああん！

あ！ あ！ あ！ あ！

あん！ あん！ あん！ あん！

あ！ あ！ あ！ あ！

あひい！

ひぎ！ ひぎ！

ひぎい！

おう！ おう！

お！ お！ お！ お！

おっほお！

おん！ おん！ おん！ おん！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おう！

おん！

お！ お！

おお！

おおん！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

あ！ あ！ あ！ あ！

あはああ！

あひ！ あひ！ あひ！

あひい！

(喘ぎながら)

これは……!!

もう、たまらないな……!!

無限に腰を振り続けられる……!!

最高の快楽というやつだ……!!

そらそらそら!!♡

もう限界も近いだろう……?♡

イけ……!!♡

イツてしまえ……!!♡

(~~~~~まで)

おん! おん! おん! おん!

おほ! おほ! おほ! おほ!

おうっ! おうっ! おうっ! おうっ!

おほおほ!

おん! おん! おん! おん!

おおん!

おん! おん! おん! おん!

おっほ! おっほ! おっほ! おっほ!

おほおほおほ!

おう! おう! おう! おう!

おん! おん! おん! おん!

お! お! お! お!

お! お! お! お!

おおおお!

はあ……はあ……

(喘ぎながら)

どうした……?♡

様子が変だぞ……♡

さては、もうイキそうなんだな……♡

イキたいんだな……♡

なら思う存分イクといいさ……♡

さあ、私のオマンコに、叩きつけるんだ!♡

君の子種を!♡

特濃ザーメンを!♡ オチンポから放って!♡

私のオマンコに好きなだけぶちまけるんだ!♡

(~~~~~まで)

おほお!

おん! おん! おん! おん!

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！
おほお！ おほお！ おほお！ おほお！
ひぎいい！

あ！ あ！ あ！ あ！
あはああ！

おっふ！ おっふ！ おっふ！ おっふ！
おん！ おん！ おん！ おん！
おおん！

お！ お！ お！ お！
お！ お！ お！ お！

おほ……♡ おほ……♡
またイク……！

イク……イク……イックううううう……！

（絶頂）

おっほおおおおおおおお！

（……まで）

（うつとりと）

おほ……♡

おほお……♡

君も、イツたんだね……♡

私の中に、熱いザーメンがいっぱい吐き出されてるのを感じるよ♡
オマンコの中が、ベトベトの白濁液で充満している……♡

ここまでにおいが伝わってきてるよ♡

ふふふ♡

こんな濃厚なものを出されたら、

確実に赤ちゃんができちゃうだろうね♡

あふ……♡

あん……♡

おほお……♡

私の太ももを伝って……トロトロの精液が……
溢れ出してきてる……♡

あん……♡

ああん……♡

よかった……♡

すごくよかった……♡

だけど、これで終わリなわけじゃないからね……♡

決まってるだろう♡

これは調教なんだ♡

君が、完全に私のものとなって屈服するまで、続けるよ♡

そして、究極は、赤ちゃんを作ること……♡

赤ちゃんを授かるまでは、休む間もなく、調教を続けるからね♡

いや……赤ちゃんができてからも……♡

永遠に……♡ ずっと……♡

(……まで)

さあ、君の調教はまだ始まったばかりだ♡

ここからさらに、激しくいくよ……♡

おやおやおや……っ♡

そんな話をしていたら……

ふふふ、また、君のチンポ、元気になってきたみたいだね……♡

これは、まだまだ、物足りない、ということかな……っ♡

それでは、お望みに応えて、たっぷり搾り取ってあげないとね……♡

ふふふ……♡

【正面股間近い】

おおん♡

お♡ お♡ お♡

(喘ぎながら)

初めて君をこの家に引き込んでから、だいぶ月日が経ったな……♡
どうだい……？♡

もうこの監禁生活にも慣れてきたかい？♡

ふふふ……♡

このお腹……♡

ほら、よく見てみて……♡

しっかりと膨らんで、私達の愛の結晶が収まっているよ♡

嬉しいなあ……♡

君と私の赤ちゃんが、いま、お腹の中で育っているんだね……♡

ふふふ……♡

それにしても、君もなんだかんだドスケベだね……♡

こんなボテ腹の私に迫られて、

結局チンポをたくましく勃起させているんだから♡

本当に、君はド変態だね……♡

もっとも、私が言えたことじゃないのだろうけどね♡

ボテ腹であるのにもかかわらず、君の腰の上にまたがって、

騎乗位でセックスを楽しんでいるのだから……♡

(……まで)

おん♡

おおん♡

お♡ お♡ お♡

おほおおお♡

(喘ぎながら)

大好き……♡ 大好き……♡ 大好き……♡

愛しているよ……♡

いつまでも、いつまでも……君のことを……♡

あ……♡

いま、お腹の中で、赤ちゃんが動いた気がする……♡

誰かが見たら、こんな私達のことを、どう思うんだろうね♡

妊娠しているのにセックスをするなんて、狂っている、と思うのかな♡

きつと、戸惑うか、怒るか、するんだろうね……♡

だけど、ためらう必要はないぞ……♡

もつともつと、お互いに求め合おうじゃないか……♡

激しく……激しく……♡

(……まで)

おっほおおお！

いい！

すごい！

オチンポが奥まで刺さってえ！

すごいのお！

おん！ おん！ おん！ おん！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

おっほお！ おっほお！

ひぎい！

ひん！

ひいん！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おおん！

おん！ おん！

おおん！

おん！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

あ！ あ！ あ！ あ！

あひい！

ああああん！

あ！ あ！ あ！ あ！

お！ お！ お！ お！

おっほお！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

おほおおお！

ひぎっ！

ひぎい！

おほおん！

(喘ぎながら)

ああ♡ ああ♡

腰が止まらない♡

気持ち良いのでいっぱい、止めたくない♡

(……まで)

おうう！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おん！ おん！ おん！ おん！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おん！ おん！ おん！ おん！

あひい！

ひぎ！ ひぎ！ ひぎ！

ひぎい！

あん！ あん！

あ！ あ！

あん！ あん！

あ！ あ！

おっほおお！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

おほおお！

(喘ぎながら)

愛しい気持ちで、胸がいっぱいだ……♡

キス……♡ キスをさせて……♡

(こゝまで)

【正面股間近い↓正面密着】

(キス)

ん……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

ちゅう……♡ ちゅう……♡ ちゅう……♡ ちゅう……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

ちゅぱ……♡ ちゅぱ……♡ ちゅぱ……♡ ちゅぱ……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡

ちゅうう……♡ ちゅうう……♡ ちゅうう……♡ ちゅうう……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

ちゅぱ……♡ ちゅぱ……♡ ちゅぱ……♡ ちゅぱ……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡

(こゝまで)

んむう……！

オマンコの中で、オチンポ、大きくなってきた……♡

まだ元気になるなんて、さすがだね……♡

いいよ……♡

私のことを壊してしまうくらいのもりで、君からも責めてくれ♡

一緒に快樂を食ろう……♡

(キス)

ちゅう……♡ ちゅう……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡

れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡

れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡

じゅるるる……♡

ちゅ……♡

ちゅる……♡ ちゅる……♡

ちゅぱ……♡ ちゅぱ……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡

むぐう……♡

ん……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

んぐ……♡

ん……ッ♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

ちゅぱ……♡ ちゅぱ……♡ ちゅぱ……♡ ちゅぱ……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

(こころまで)

ああ……♡

あん！ あん！ あん！ あん！

あ！ あ！ あ！ あ！

あん！ あん！ あん！ あん！

あ！ あ！ あ！ あ！

おっほお！

おん！ おん！ おん！ おん！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

お！ お！ お！ お！

おほおお！ おほおお！

ひぎ！ ひぎ！ ひぎ！

ひぎいい！

あう！

あ！

あうう！

あっはああ！

おん！ おん！ おん！ おん！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

あ！ あ！ あ！ あ！

あああ！

あう！ あう！ あう！

あうう！

おっほおっほおっほ！

(喘ぎながら)

毎日でもセックスできちゃう……♡

こんなに気持ちいいの、一分一秒でも止めていたくない……♡

君とずっとずっと、休む間もなく、つながり続けていたくらいだ……♡

そんな風に求めるのは、変かな……？♡

どう思う……？♡

ふふふ……♡

(……まで)

おん♡ おん♡

おおん♡

おん♡ おん♡

(喘ぎながら)

二人の子供に、どんな名前を付けようね……♡

考えれば考えるほど、ワクワクしてくるよ……♡

もちろん、わかってるだろうね……？

育てるのは君だよ♡

私は学校に行ってるから、その間に、君はこの家で、赤ちゃんと過ごすんだ……♡

しっかり子守をしてもらうからね♡

(……まで)

ああああ！

あん！ あん！ あん！ あん！

あ！ あ！ あ！ あ！

ひぎ！

ひぎいいい！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おう！ おう！ おう！ おう！

おおおん！

おほお！ おほお！ おほお！ おほお！

おっほおっほ！

あ！ あ！ あ！ あ！

ふああ！

ああ！

あああ！

あん！ あん！ あん！ あん！

あ！ あ！ あ！ あ！

あ！ あ！ あ！ あ！

(キス)

むぐ……！

ちゅ……！ ちゅ……！ ちゅ……！ ちゅ……！

ちゅぱ……！ ちゅぱ……！ ちゅぱ……！ ちゅぱ……！

ちゅるる……！ ちゅるる……！ ちゅるる……！ ちゅるる……！

ぴちゃ……！ ぴちゃ……！ ぴちゃ……！ ぴちゃ……！

ちゅ……！ ちゅ……！ ちゅ……！ ちゅ……！

ちゅ……！ ちゅ……！ ちゅ……！ ちゅ……！

ちゅうう……！ ちゅうう……！

ちゅぱ……！ ちゅぱ……！ ちゅぱ……！

ぴちゃ……！ ぴちゃ……！

ちゅうう……！

ちゅ……！

むぐうう……！

ん……！ ん……！ ん……！ ん……！

ん……！

むぐうう……！

(こっこまで)

(息継ぎ)

ぶあっ！

(こっこまで)

はあ！

あ！ あ！ あ！

あっはああ！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

お！ お！ お！ お！

おほおおお！

おん！ おん！ おん！ おん！

おほお！ おほお！

おん！ おん！ おん！

おん！

あひ！ あひ！

あひいいい！

ひぎいいい！

あ！あ！あ！あ！

あああ！

あ！あ！あ！あ！

あひ！あひ！あひ！あひ！

おほ！おほ！

おほお！

おっほおお！

（息継ぎ）

はあ♡ はあ♡

（こゝまで）

（囁き）

ふふふ♡

君もだいぶ素直になってきたね♡

最初のころは、だいぶ戸惑っていた様子なのに、

いまではすっかり私のことを受け入れていて♡

こんな状態になっても、私に発情して、セックスができるんだから♡

こんなボテ腹状態の私相手に、最初のころの君だったら、

ためらってチンポが萎えていただろうな……♡

（こゝまで）

あはあん♡

（喘ぎながら）

オチンポ、最高♡

君のオチンポを味わっているうちに、だんだん、昂ぶってきたよ♡

中の敏感なところをごすられまくっていたから、だろうね♡

そろそろ、私は、迎えてしまいそうだよ♡

オーガズムを♡

あん……！

あふう！

いっぱいイカさせてくれよ……！

（こゝまで）

はうう……！

（キス）

ちゅ……！ ちゅ……！ ちゅ……！

れろ……！ れろ……！

ちゅば……！ ちゅば……！

ちゅる……！　ちゅる……！　ちゅる……！
ちゅうう……！

ちゅ……！　ちゅ……！　ちゅ……！　ちゅ……！　ちゅ……！
ちゅる……！　ちゅる……！

れろ……！　れろ……！　れろ……！
ちゅ……！　ちゅ……！　ちゅ……！　ちゅ……！

ちゅううう……！

ちゅ……！

れろ……！

(……まで)

あ！　あ！　あ！　あ！

あん！　あん！　あん！　あん！

あひい！

ひぎ！　ひぎ！　ひぎ！　ひぎ！

ひぎい！

おん！　おん！　おん！　おん！

おほ！　おほ！　おほ！　おほ！

おっほ！　おっほ！　おっほ！

おっほおお！

おん！　おん！　おん！　おん！

お！　お！　お！　お！

おう！　おう！　おう！　おう！

ああああ！

あ！　あ！　あ！　あ！

あん！

あひ！　あひ！　あひ！

あひい！

おっほおお！

(うつとりと)

おやおやおや……♡

君も、そろそろイキたそうな顔をしているな♡

私と一緒に、イクかい……？♡

そうしたら、イこうじゃないか♡

一緒に……絶頂を迎えよう……♡

ん……♡

(……まで)

あ！　あ！　あ！　あ！

あん！　あん！　あん！　あん！

あうっ！　あうっ！

うっ！

うううう！

おほっ！ おほっ！ おほっ！ おほっ！

おほっ！ おほっ！ おほっ！ おほっ！

おん！ おん！ おん！ おん！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

お！ お！ お！ お！

おほおおお！

ああ！

あ！

あひひい！

あんん！

んん！

ん！

あああ！

おうっ！ おうっ！ おうっ！ おうっ！

お！ お！ お！ お！

お！ お！ お！ お！

おお！

おん！

おおお！

おおん！

あ♡ あ♡ あ♡ あ♡

イク♡

イツちゃう♡

お♡ お♡ お♡ お♡

お♡ お♡ お♡ お♡

(絶頂)

おっほおおおおおおおおおお……♡

(……まで)

(うっとりと)

ああ……♡

どうやら君もイッたようだね……♡

ふふふ、また、新しい子種が……私の中に……♡

ドクドクと入ってきているよ……♡ すごい量だね……♡

オマンコに入りきらない分が、ほら、外に出てきている……♡

やっぱり、君の精液は、たくましいな……♡

妊娠しているところに精液を注ぎ込まれたら、どうなるんだろうね……？♡
中にいる赤ちゃんはどう思っているんだろうな……♡

(……まで)

(キス)

ん……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡

れろ……♡ れろ……♡

ちゅぱ……♡ ちゅぱ……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

ぴちゃ……♡ ぴちゃ……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡

ぺろ……♡ ペロ……♡

れろ……♡ れろ……♡

ちゅう……♡

ちゅうう……♡

(……まで)

(喘ぎながら)

君のことは絶対に離さないよ……♡

いつまでも、大事に、君を捕まえ続けるからね……♡

もちろん、いまや調教は完全なものになったと思うから、

自由に外に出てくれてもいいけど……♡

赤ちゃんが生まれたら、ちゃんと守っててくれよ……♡

(……まで)

あん……♡

あ……♡

(喘ぎながら)

いまだ君のチンポは、臨戦態勢、といったところだな……♡

そうしたら、二回戦目というか……♡

ふふふ……♡

(……まで)

あん！ あん！ あん！ あん！

あ！ あ！ あ！ あ！

あああ！

あ！ あ！ あ！ あ！

あああ！

おほお！ おほお！

おうっ！

おうう！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

あん！ あん！ あん！ あん！

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おほおおお！

おおん！

好き！ 好き！ 大好きい！

君も！ 君のオチンポも！

みんな好きいい！

もっともっと！

欲しい！

もっと欲しい！

君のオチンポが欲しい！

私のオマンコにいっぱい欲しい！

あひいい！

ひぎいい！

ああああん！

あん！ あん！ あん！ あん！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

おほおおお！

あひ！ あひ！

おん！ おん！ おん！ おん！

おほっ！ おほっ！

おほおおお！

お！ お！ お！ お！

お！ お！ お！ お！

お！ お！ お！ お！

おっほおおおおおおお………！

(完)